

皆様のかかりつけ医として
大切な情報をお届けします

新聞PDFはこちらへ▶



いわい中央クリニック新聞

2024年
7月号
IWAI
CENTRAL CLINIC

受診の際は毎回マイナンバーカード受付をお願いします

同意していただくことで健康診断の情報や他院で処方された薬の情報を参照することができます

劇症型溶血性レンサ球菌感染症『人食いバクテリア』とは

溶血性レンサ球菌（いわゆる溶連菌）は、のどの風邪を引き起こす細菌として知られていますが、まれに引き起こされることがある重い病状として、劇症型溶血性レンサ球菌感染症があります。劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、突発的に発症し、敗血症などの重篤な症状を引き起こし急速に多臓器不全が進行することがある重症感染症であり、その死亡率は約30%とされていますが、重症化するメカニズムはまだ解明されていません。

主な症状：最初は、腕や足の痛みや腫れ、発熱、血圧の低下などから始まることが多く、その後、組織が壊死したり、呼吸状態の悪化・肝不全・腎不全などの多臓器不全を来し、場合によっては数時間で、非常に急速に全身状態が悪化します。

治療方法：適切な抗菌薬の迅速な投与、必要に応じて緊急手術による広範囲の病巣（びょうそう）の除去、集中治療室での全身状態の管理、などを行います。

感染対策のため日常生活で気をつけること：手指衛生や咳エチケット、傷口の清潔な処置といった、基本的な感染防止対策が有効です。また、発熱や咳や全身倦怠感など体調が悪いときは早めに受診しましょう。劇症型溶血性レンサ球菌感染症の患者数が増加している理由は必ずしも明らかではありませんが、A群溶血性レンサ球菌による急性咽頭炎の患者数が増加していることが要因の一つである可能性があると考えられています。（劇症型溶血性レンサ球菌感染症の原因となる菌種としては、A群、B群、C群、G群レンサ球菌が主なものとして知られています）



便潜血検査で陽性になったら

2日間の便を調べて1日でも陽性と判定されれば、内視鏡による精密検査を行います。便潜血検査により、進行がんの90%以上、早期がんの約50%、腺腫などのポリープの約30%を見つけることができ、その結果、大腸がんの死亡率を約60%、大腸がんになるリスクを46～80%下げることが報告されています。また、便潜血陽性以外にも、家族歴、既往歴で大腸ポリープが疑われる場合、あるいは血便や便が細い、腹痛などの症状のある患者さんに対しては内視鏡による精密検査を行います。



昭和37年から昭和53年度生まれの男性の方 風疹抗体検査は2024年度まで

風しんは、成人がかかると症状が重くなる場合があります。また、妊婦が感染すると胎児の目や耳、心臓に障害が起きることがあります。昭和37年度～昭和53年度生まれの男性の方へは自治体から、原則無料の風しん抗体検査と予防接種のクーポン券が送付されていますが、2024年度までで終了となります。御自身の体と、これから生まれてくる世代の子どもを守るためにぜひクーポン券を使って風しん抗体検査と予防接種をお受けください。



事務長からのあいさつ

特定健診が始まりました。当院では国民健康保険健康診断、後期高齢者健康診断、社会保険健康保険証の被扶養者の健康診断、安中市個別検診を行っております。また、健診で「要治療」や「要精密検査」などの判定が出た場合、当院でも原因精査をしっかりと行うとともに、適切な生活指導や治療を行います。健診結果で異常が認められた場合、ぜひ当院へご相談ください。

検診や診察のご予約は受付やお電話でも(027-381-2201)承っておりますのでお声がけください。



院長からのあいさつ

室内での熱中症発症の割合が増加しています。室内での熱中症は、室内で過ごしている間に室温や湿度の上昇など、環境要因で起こるほか、屋外での活動後に室内で適切に体を冷やすことができず熱中症になる場合や、夜間に冷房を使用しないことで寝ている間に熱中症になる場合もあります。室温や湿度は家や部屋ごとに異なります。温度計・湿度計・熱中症計を使用して、いま自分のいる環境について気にかけるようにしましょう。室温が高い時だけでなく、湿度が高い時も熱中症に注意が必要です。冷房機器や除湿器などを使用して、熱中症になりにくい環境を保つようにしましょう。